

核医学（R I）検査を受けられる方へ

—放射線の影響について—

あなたのからだを詳しく調べるために、R I 検査を行うことになりました。

R I 検査では放射線を用いて、体内の様子を写真にとることができ、様々な病気の状態を知る事ができます。

放射線のことを心配で検査を受けなかったために、あなたの病気の状態が分からず、症状がよくならないということは、最も避けなければなりません。

放射線のことを心配なときは、担当医とよく相談し納得したうえで検査をお受け下さい。

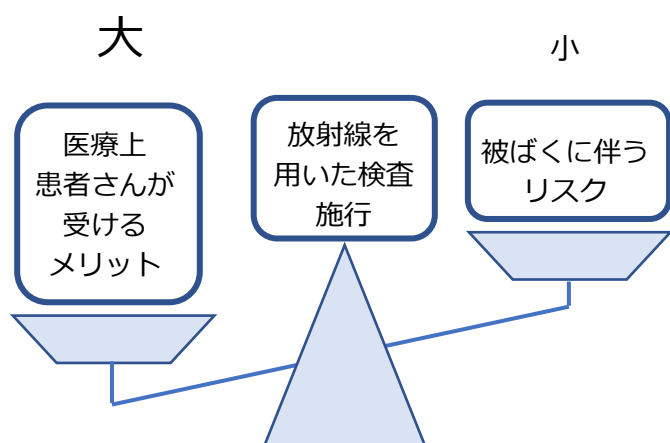
○ 放射線がからだに及ぼす影響について

受けた放射線の量が 100 ミリシーベルト未満であれば、放射線検査を受けた人も受けなかった人も、発がん率や遺伝的な影響の差は無いと言われています。

○ R I 検査で用いる放射線の量について

あなたが受ける R I 検査で 100 ミリシーベルトを超えることはありません。

○ 検査の正当性



医療行為のすべてにリスクは存在しています。逆に、医療を受けないという選択にもリスクは存在しています。R I 検査を受けることによって、病気の有無・早期発見、治療方針の決定、予後の推定など、患者さんは多くのメリット（利益）を受けており、メリットの方が被ばくのリスクよりも十分に大きい時にのみ検査が行われています。

当院では放射線診断で用いられる標準的な線量値（診断参考レベル）と比較し、放射線医薬品投与量を最適化しています。放射線による影響をご心配されることはありませんので安心して検査をお受け下さい。